



「面白がり力」強化プログラム ワークショップ

2022年4月版

「面白がり力」強化プログラムワークショップは 次のような状態を 解決したいチーム向けのコンテンツです



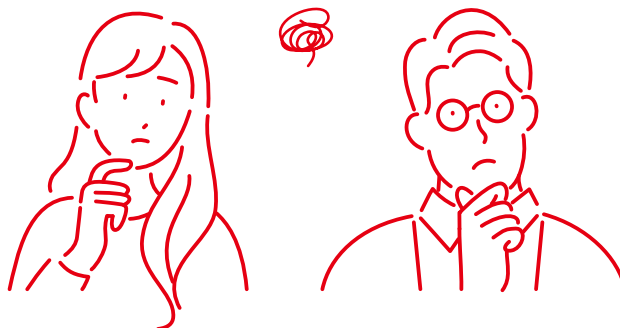
新規事業創出プロジェクトを
始めることになり、
チームで
良いスタートダッシュを切りたい



新規事業創出の部署で、
メンバー同士の
交流とディスカッションを
深めたい



チーム内でアイデア出しをしても、
いつもありきたりな結論にばかり
行きついてしまうのを
なんとかしたい



新規事業創出が行き詰まるのはなぜ？

正攻法の見えている既存事業とは異なり、新規事業創出の現場ではさまざまな困難が生じます。とくに0→1の開発段階では、以下のような状態が散見されます。

アイデアの無個性化

チーム内でディスカッションやワークショップをやっても、既存ビジネスの延長か、思いつきレベルのありきたりなアイデアしか出てこない。

属人化

発言力の高い一部メンバーのコミットメントに依存してしまい、結果として再現性のない取り組みになってしまう。

イベントの形骸化

ワークショップを実施しても、参加者が受け身なままで終わってしまったり、単なる気分転換のような場になったりしてしまう。

これらの事態が起こるのは、「アイディエーションをチームで行う土台ができていない」ためです。この土台のない状態でディスカッションやワークショップを重ねても、多くの場合、やがて議論は行き詰まってしまいます。

「面白がり力」強化プログラムワークショップで、 コミュニケーションとインプットのきっかけをつくる

では、アイディエーションの土台とは何でしょうか。

フィラメントは、**コミュニケーションを通して共創とインプットを楽しむ力=面白がり力**と考えます。

「面白がり力」強化プログラムワークショップ は、〈コミュニケーションとインプット〉を軸に、**アイディエーションの土壌を作るためのワークショップ**です。

フィラメントでは、「面白がり力」強化プログラムワークショップを通じて新規事業を創出する「**人をつくり**」、伴走しながら、新規事業創出にむけた多様な支援を展開・提供しています。

「面白がり力」強化プログラムワークショップは、そのための**最初の重要なステップ**です。

【新規事業創出のための主なステップ】



本プログラムが目指すもの

①

インプット／アウトプットの モチベーション強化

本ワークショップのグループワークは、少人数のグループで「自慢をする／聞くこと」「ほめること」から始まります。

自信をもって話せる事柄から会話広がっていくため、発言力の大小にかかわらず、全てのメンバーがコミュニケーションの発端となって対話をつくることを体感できます。

また、自らの話が好意的に承認される過程を通して、継続的なアウトプットへのモチベーションが高められます。

一方、他人をほめる行為には想像力と表現力が求められます。意識して相手をほめることを通じて、新しい領域の知見が得られるだけでなく「自分の興味のある事柄以外も、**ポジティブに理解しようとする姿勢**」(＝面白がり力)を獲得することができます。

②

他者との共創によって 思考の飛躍を体験

制約をかけない思考は、一定のトレーニングと他者との共創を必要とします。

そのため「ビジネスアイデア発想」のフェーズでは、実現可能性や論理性にこだわらず、各人の発想を組み合わせることで**アイデアを自由に飛び立たせる**ことが推奨されます。

知見豊かなフィラメントのメンバーが進行補助として各グループに入り、**アイデア出しを進めるサポート**を行います。

③

フレームワークの 同時インプットによる 実業務への応用力強化

ワークショップでの体験を現場の業務に生かすためには、ある程度**抽象化された理論のインプット**も不可欠です。

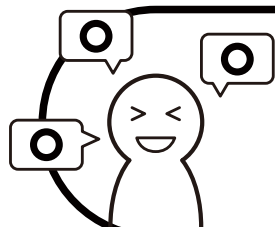
本ワークショップでは、さまざまな概念・ロジックも併せてお伝えすることで、現場での応用を後押しします。

また、全工程を数時間のパッケージとすることで、多忙なメンバー・主催者の参加も可能となっています。

オンラインでの開催にも対応しているため、離れた拠点間でのチームビルディングにも有効です。

ワークショップを通して参加者が得られる価値

「面白がり力」強化プログラムワークショップを通じて、参加者の皆さまにはアイディエーションの土壌となる以下のような価値を獲得していただきます。



✓ 自身では認識していなかった
自らの強みの認知



✓ 日常的なアウトプットへの
モチベーション



✓ 共創に軸を置く
コミュニケーションの取り方



✓ 既存の枠にとらわれない
発想力



✓ 自分の知らなかった物事に興味をもち、
積極的に深めていくことの楽しさ

実際に「面白がり力」強化プログラムワークショップを体験した参加者の声



いつも「できそうか」「成功しそうか」を第一に考えていたが、固定観念にとらわれていては、フレッシュなアイデアは出てこないということに気づかされました。今後は、何事も面白がりながら想像力を働かせて考えることを大切にしていきたいと思います。



オンラインでのワークショップは初参加でしたが、進行が非常にスムーズで驚きました。



とっても楽しかったです!脳の筋トレ…終わった後にかなりグッタリ来ましたw。
面白がり力、日常的に継続したいと思いました。またいつ、突然、このようなイベントに参加しても大丈夫のように、常に「自慢」のタネを仕入れるようにアウトプットを出して行けたらいいなと思いました。



縦割りの仕事をしている職場が多いからか、周りに興味を持たない、周りを褒めないといった雰囲気(=課題)があり、これへの対応の大きな手掛かりになりそうだと感じています。



普段自分がいかに結論ありきで考えており、結果として考えが小さくまとまっていたことに気づいた。



新しい発想をする上で、やはりどうしても加工に意識が向いていたので、情報収集もバランス良く行っていきたいと思います。
また、普段他部門の方々とフランクな場で話をする機会がないので、このような場が有難いです。

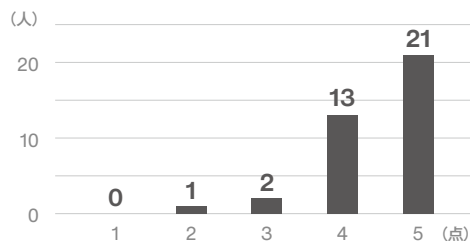


ワークショップでは自分の持っている引き出しの少なさに気づきましたが、他の人の引き出しと組み合わせることで、自分一人では見つけれなかった面白さを発見することができました。

実施後アンケート回答

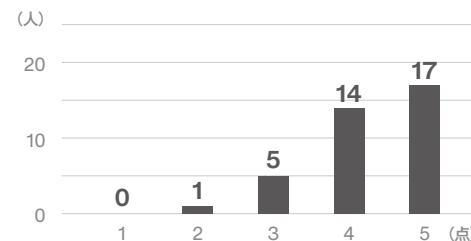
ワークショップの内容は
わかりやすかったですか？

平均 **4.7**
★★★★★



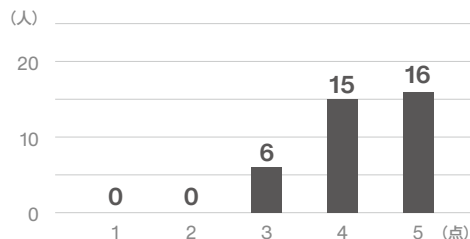
業務に活用できる内容でしたか？

平均 **4.3**
★★★★☆



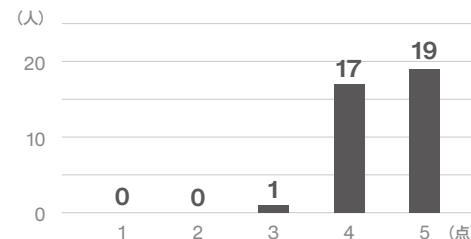
今回参加していない人にも
おすすめしたいと思いませんか？

平均 **4.5**
★★★★☆



あなたにとって有意義な内容でしたか？

平均 **4.6**
★★★★☆



基本情報

スペック

実施場所	Zoomによるオンライン、もしくはオフライン
所要時間	約3~3.5時間
ファシリテーター人数	2名程度
参加人数	40~50名推奨
グループワーク人数	1チームあたり4~5名推奨
事前打ち合わせ時間	1時間×2回程度

ワークの内容

インプット	約30分	面白がり力とその効果についてのセンスメイキング 事例紹介を交えたプログラム概要説明 ワークの解説(具体的な自慢の仕方・褒め方の説明等)
ワーク	約75分	グループワーク1: 自慢・ほめる×チーム人数(4~5人) グループワーク2: ビジネスアイデア発想 (世界を大きく変えるクレイジーなアイデアをチームで考える)
アウトプット	約45~75分	チームプレゼン(自由な雰囲気のもと「面白がり力」の成果開示) 講評(講師による「褒める」の実践的例示)

【「面白がり力」強化プログラムワークショップ お問い合わせ先】

株式会社フィラメント

〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町 2-1-1 The DECK オフィススペース

TEL: 072-974-8718

Mail: info@thefilament.jp